

青森で生きる未来人財育成事業 ボランティアチーム養成講座【第2回】

令和6年6月15日(土)14:00~15:00 県総合社会教育センター 受講者30名

1 内容

【テーマ】「スポーツボランティアの重要性について」

【講師】 株式会社ブランデュー弘前 代表取締役 にしざわ ゆうき 西澤 雄貴 氏

【経歴】



2012年にNPO法人弘前Jスポーツプロジェクトを母体に発足したブランデュー弘前FCにてチームキャプテンとして活動し、2015年に現役引退後、同プロジェクトの副理事長を務めた。

2019年10月、弘前からJリーグを目指して活動しているサッカーチーム「株式会社ブランデュー弘前」を設立し、代表取締役として、サッカーを通じたまちづくりやスポーツ環境の整備、地域課題の解決を目的として活動している。

【講義要旨】

- 文部科学省では、国のスポーツ政策の基本的方向性を示す「スポーツ立国戦略」を策定し、スポーツとの関わりを「する」、「観る」、「支える」の3つに分類して、スポーツと他分野を掛け合わせた連携・協働を推進している。
- スポーツイベントをとおして、スポーツの振興や競技の普及、施設環境整備に加え、地域住民の健康づくりや生きがいづくりを目指している。更には、試合観戦に加え、飲食店の設営など、併せて行うイベントのエンターテインメント性を高めることで、地域の活性化や経済効果の高まりにつなげられるよう、取り組んでいる。
- ボランティアスタッフのサポートにより、サポーターの応援に対するモチベーションが向上し、会場の雰囲気盛り上がりや選手のモチベーション向上にもつながることから、ボランティアスタッフもチームの一員であり、勝敗にも関わる重要な役割を担っている。

2 受講者の感想

- ・スポーツにおけるボランティア活動の重要性について見直す機会になった。今回の講座を受講するまでは、ボランティアといえば裏方というイメージが強かったが、ボランティア員の行動が選手や観客にも影響するということが分かった。
- ・私自身も幼少期からスポーツを行っており、スポーツを支える人たちへの尊敬の念をもっていたので、スポーツボランティアの活動内容を知ることができて良かった。正しい情報を知った上でボランティアへ参加していきたい。
- ・スポーツは選手のように「する」だけでなく、スポーツライターやジャーナリスト、実況者のように「観る」ことに携わったり、トレーナーやドクターのように「支える」ことに携わったりできることを知り、さらに、ボランティアスタッフは「支える」ことができると知った。自分たちがボランティアスタッフとして、サポーターや選手のモチベーションにつなげることが出来たら、とても良いことだと感じた。